

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 平成31年 4月18日（木）

2 調査対象 第3学年生徒25名

3 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語，数学，英語）

- ① 身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や，実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や，様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容
上記①と②を一体的に問う。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

4 調査結果

(1) 教科に関する調査

国語は，おおむね全国平均と同程度でした。
 数学は，全国平均を下回りました。
 英語は，おおむね全国平均と同程度でした。
 英語「話すこと」は，おおむね全国平均と同程度でした。

(2) 生徒質問紙調査

成果が見られた項目

- 自分で計画を立てて勉強をしていますか。
- 読書は好きですか。
- 授業で学んだことを，ほかの学習に生かしていますか。

課題が見られた項目

- 国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき，うまく伝わるように根拠を示すなど，話や文章の組み立てを工夫していますか。
- 今回の数学の問題について，解答を言葉や数，式を使って説明する問題がありましたが，どのように解答しましたか。→ 書く問題で解答しなかったり，解答を書くことを途中で諦めたりしたものが多かったという割合が高かったです。
- 解答時間は十分でしたか。

5 学力向上の取り組み

今回の調査結果では，国語においては「読むこと」，数学においては「図形」，英語においては「書くこと」の領域に課題が見られました。また，数学においては「数学的な技能」，「数量や図形などについての知識・理解」が課題でした。

そこで，次の3点について重点的に取り組んでいきます。

- ・ 南相馬の授業スタイル等を活用しながら，対話的に学び合うことができる授業を充実させます。
- ・ 数学においては，TTでの指導を全学年で行い，生徒が「分かる・できる」授業を実施します。
- ・ 授業との関連を図った補充学習や家庭学習の課題を工夫し，基礎学力の向上と家庭学習の習慣化を図ります。

6 保護者・地域の皆様へ

生徒の学習環境・生活環境づくりについて，次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いいたします。

- テレビやゲーム，スマホのルール化
- 早寝・早起き・朝ごはんの習慣化
- 家庭学習時間の確保
- 地域行事等への積極的な参加